

千葉県市川健康福祉センター発 いちうら感染症情報

「2023-10月①」 定期号

2023年10月12日配信

平素より保健福祉行政にご協力いただきありがとうございます。

内容について、医療機関向け情報には(医)を、一般施設向け情報には(一)をつけております。また、2023年第39週は9月25日～10月1日、第40週は10月2日～10月8日までの期間になります。ご覧いただく際にご参考にしていただければ幸いです。

10月号第1回目の配信となります。原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信していきます。

1



全数報告感染症情報

※市川保健所管内の直近5週分の感染症発生動向状況については、メールに添付しておりますのでご確認ください(「2023.36週～40週」.pdf)。

●管内の状況(報告のあった疾患のみ掲載しています)

2023年第39週、第40週

二類感染症	2週分	累計(年)
結核	2	66
三類感染症	2週分	累計(年)
腸管出血性大腸菌感染症	4	18

四類感染症	2週分	累計(年)
レジオネラ症	1	5

五類感染症	2週分	累計(年)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2

2



発生動向トピックス

●県内の梅毒の発生届が、過去最多になりました。早期発見・早期治療のために、まず検査が重要です。

2023年第39週に県内医療機関からの発生届が、1999年の現行サーベイランス開始以降で最多の累計342例となりました(図1)。また、同時点で、妊娠症例の発生届が6例と先天梅毒の発生届が1例ありました。当保健所管内では、2023年第39週までに累計21例の発生届がありました(図2)。

図1 2014年～2023年39週千葉県梅毒年別累積届出数 (n=1816)

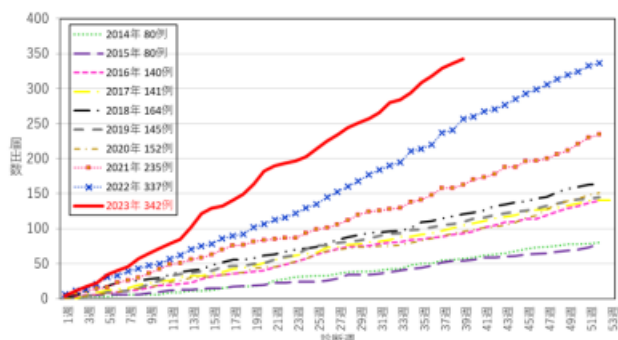
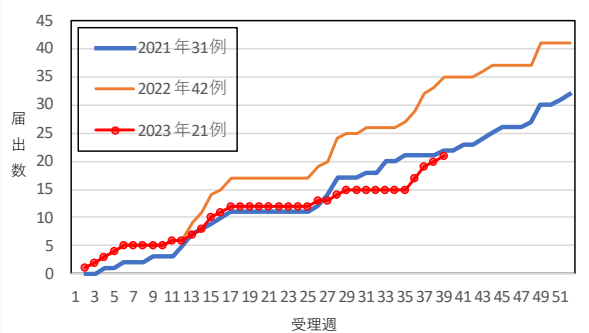


図2 管内の梅毒年別累積届出数 (n=94)



梅毒は、梅毒トレポネーマによって引き起こされる細菌感染症です。感染経路は、感染者との性器や肛門、口腔などの粘膜の接触を伴う性行為等によるものです。**感染対策は、感染者との性行為や感染リスクの高い行為を避けることが基本**です。性行為の時にはコンドームを適切に使用することが感染リスクの低減につながります。

また、市川保健所では匿名で HIV 抗体等の検査を実施しております。直近の検査日時については、本誌『お知らせ』をご覧ください。

引用・参考

国立感染研：梅毒とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>

厚労省：梅毒に関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html

一般社団法人日本感染症学会：梅毒 <https://www.kansensho.or.jp/ref/d52.html>

日本性感染症学会：緊急セミナー「梅毒を知る～梅毒の急増を止めるために～」

<http://jssti.umin.jp/seminar.html>

●手足口病の県内の定点当たり報告数が、過去 5 年間で最も高い報告数となりました。

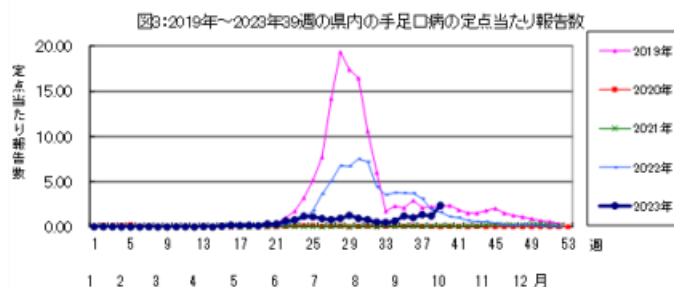
2023 年第 39 週に県内小児科定点医療機関から報告された定点当たり報告数は 2.38 (人) でした (図 3)。

手足口病は、口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。感染経路は接触感染を含む経口感染と飛沫感染です。

特に、急性期に最もウイルスが排出され感染力が強く、回復後も 2~4 週間にわたり便からウイルスが検出されることがあります。**感染対策は、石鹸を用いた手洗いです。特に排便後や排泄物の処理後の手洗いが重要です。**

引用・参考

国立感染研：手足口病とは <https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>



●管内の医療機関より薬剤耐性菌感染症の発生届がありました。

2023 年第 40 週時点累計で管内の医療機関からの発生届数が、バンコマイシン耐性腸内細菌目細菌感染症 (以下 VRE 感染症) 2 例、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (以下 CRE 感染症) 2 例となりました。

	VRE 感染症	CRE 感染症
定義	腸球菌感染症の治療において重要な抗菌薬であるバンコマイシンに耐性を示す腸球菌による感染症	グラム陰性菌による感染症の治療において最も重要な抗菌薬であるメロペネムなどのカルバペネム系抗菌薬および広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌科細菌による感染症
臨床症状	主に悪性疾患などの基礎疾患を有する易感染状態の患者において、日和見感染症や術後感染症、カテーテル性敗血症 (line	肺炎などの呼吸器感染症, 尿路感染症, 手術部位や皮膚・軟部組織の感染症, カテーテルなど医療器具関連血流感染症, 敗血症, 髄膜炎, その他多様な感染症を起こし, しばしば院内感染の

sepsis)、発熱やショックなどを起こします。	原因となります。時に健常者に感染症を起こします。
--------------------------	--------------------------

薬剤耐性菌の発生を抑えるには、**抗菌薬の適正使用を守り耐性菌を作らないことです。**そのため、処方する医療機関はもちろん、一般の方も処方された薬はしっかり飲み切ることが必要です。

医療機関においては、**標準予防策を徹底し広げない、サーベイランスを行い発生状況の把握を行う、必要に応じ速やかに対策会議を開き対策を講じ、関係者との情報共有を行います。**

引用・参考

国立感染症研：VRE 感染症 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/vre-m/vre-iasrtpc/10589-498t.html>

国立感染症研：CRE 感染症 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/cre-m/cre-iasrtpc/8614-468t.html>

厚労省：薬剤耐性(ARM)対策アクションプラン https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/ap_honbun.pdf

厚労省：抗微生物薬適正使用の手引き 第2版 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000573655.pdf>

3



インフルエンザ感染症

●9月19日付けで、厚労省から今冬のインフルエンザワクチンの優先的な接種対象者への呼びかけがありました。

今冬のインフルエンザワクチンは、通常年の使用量を超える供給量を確保できる見込みであり、65歳以上の方等は予防接種法に基づく定期接種対象者となっています。

詳細につきましては、下記ホームページをご覧ください。

厚労省：今冬のインフルエンザワクチンの接種対象者への呼びかけについて（令和5年9月19日）

<https://www.mhlw.go.jp/content/001147674.pdf>



●定点報告数(下図)は2023年第39週、第40週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめたものです。

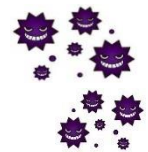
<市川保健所管内インフルエンザ発生状況>

(人)

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	582	2	1	0	5

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な167例を除く)



●臨時休業週報数(下図)は、2023年第39週、第40週における学校等欠席者・感染症情報システムからの学級・学年閉鎖等をまとめたものです。

第39週

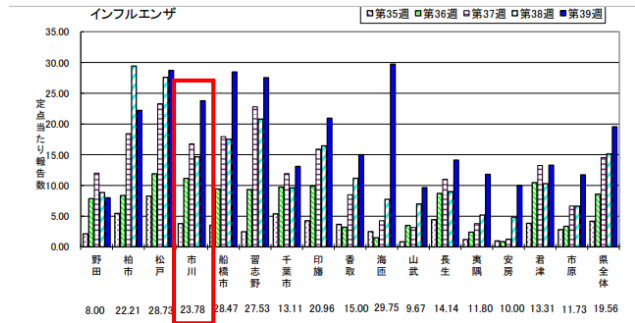
	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	計
保育所	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0
小学校	0	0	35	35
中学校	0	0	9	9
高等学校	0	0	1	1
その他	0	0	0	0
計	0	0	45	45

第40週

	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	計
保育所	0	0	0	0
幼稚園	0	0	1	1
小学校	0	0	30	30
中学校	0	0	11	11
高等学校	0	0	3	3
その他	0	0	0	0
計	0	0	45	45

●インフルエンザによる報告数は増加傾向です。

第39週の県全体の定点当たり報告数は、前週の15.03(人)から増加し19.56(人)でした。報告数の多かった地域は、保健所管内別で海匝29.8(人)、松戸28.7(人)、船橋市28.5(人)となりました。市川管内の報告数も、前週より大幅に増加して23.78(人)となりました(右図)。



2023年第39週に県内で報告のあった3717

例のうち、A型3635例(97.8%)、B型9例(0.2%)、A型とB型両方陽性1例(0.03%)、型非鑑別キットで陽性72例(1.9%)であり、A型が多かったです。

インフルエンザを予防する有効な方法としては、以下があげられます。

- ①こまめな手洗い ②適度な湿度の保持 ③十分な休養とバランスのとれた食事
- ④人混みや繁華街への外出を控える ⑤室内ではこまめに換気する ⑥ワクチン接種

千葉県: インフルエンザ発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202339influenza.pdf>

4 (医) 新型コロナウイルス感染症

●定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です。

第39週の県全体の定点当たり報告数は、前週(2023年第38週)の14.43(人)から減少して、10.61(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、保健所管内別で夷隅16.20(人)、市原16.18(人)、長生15.86(人)となりました。市川管内の報告数も、前週から減少して5.17(人)となっています(図2)。

図1 千葉県の年別新型コロナウイルス感染症定点当たり報告数

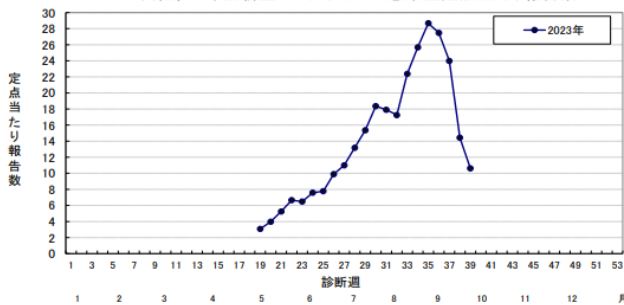
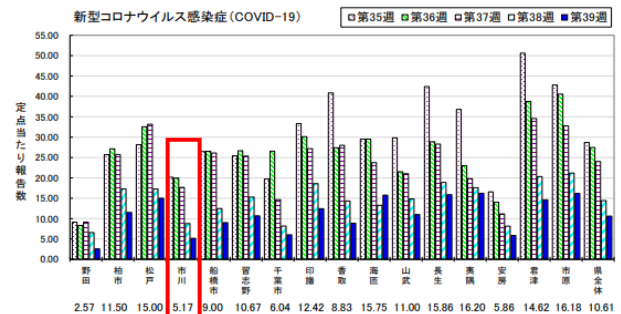


図2



新型コロナウイルス感染症対策のポイントは、**室内の換気、手洗い、手指消毒、マスクの着用、アルコールや次亜塩素酸ナトリウムを用いた環境消毒**です。特に、医療機関や高齢者施設においては、マスクの着用が推奨されています。エアコンを使用中の場合も定期的な換気を心がけ、引き続き感染対策を行いましょう。

【参考・引用】

千葉県: 新型コロナ感染者の発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202339covid19.pdf>

厚生省: 新型コロナ 夏の感染対策のポイント https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

国立感染症研究所:新型コロナウイルス感染症サーベイランス速報・週報:発生動向の状況把握

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/12015-covid19-surveillance-report.html>

リーフレット「令和5年度 新型コロナワクチン接種についてのお知らせ」 <https://www.mhlw.go.jp/content/001068244.pdf>

厚労省:新型コロナウイルス感染症 一般向け Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

5



お 知 ら せ

HIV 抗体検査実施予定日

検査実施日: 11月16日 13:30~

(予約開始日は、11月6日 9時~)

検査内容: HIV、梅毒、クラミジア、淋菌、B型肝炎、C型肝炎

問い合わせ・予約方法: 市川保健所疾病対策課 電話にて要予約

* 検査実施に関する詳細、他日程につきましては、ホームページをご覧ください。

市川保健所: HIV 抗体検査・肝炎ウイルス検査のご案内

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

千葉県では、休日街頭 HIV 検査も実施しております。検査実施に関する詳細、他日程につきましては下記のホームページをご覧ください。

千葉県: 休日街頭 HIV 検査 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html>



最後に

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了解ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてはセキュリティ等の注意をお願いいたします。

【配信元】

千葉県市川健康福祉センター（市川保健所）

いちうら感染症情報

ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

